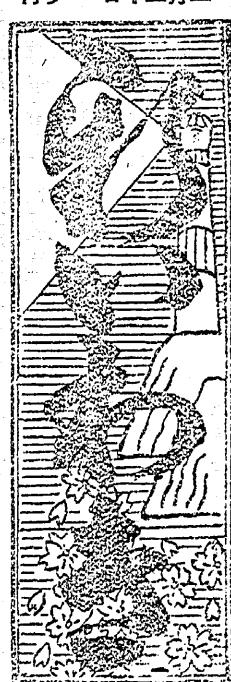


刊夕 日子二月二



平野の二月の貨物

上旬は異常な增收
鐵屑類の遠距離發送から

中旬に入りて稍下火

平野に於ける今二月の貨物は
鐵材の暴騰から鐵屑類の遠距
離輸送で上旬取扱ひに異常な
増收を上げた其の数字は、

鐵送二七八五噸(二七五二)

到着六一二三噸(五五六二)

收入四一九五圓(二五一五)

離送内は前年同期

で前年に比べれば量に於て發
達三四噸、到着五六二噸を増
加せるに止まるも運賃では質
も輸送の範囲が漸次擴大し遠
距離の貨物や宅扱ひの如きも
呈し前年同期よりは發送收入
共に若干の減少を見てゐる尙
未だ上旬の動きを絶つて取扱ひに左記の如き開散を
呈し前年同期よりは發送收入
共に若干の減少を見てゐる尙
未だ上旬の動きを絶つて取扱ひに左記の如き開散を

離送内は前年同期

で前年に比べれば量に於て發
達三四噸、到着五六二噸を増
加せるに止まるも運賃では質
も輸送の範囲が漸次擴大し遠
距離の貨物や宅扱ひの如きも
呈し前年同期よりは發送收入
共に若干の減少を見てゐる尙
未だ上旬の動きを絶つて取扱ひに左記の如き開散を

離送内は前年同期

で前年に比べれば量に於て發
達三四噸、到着五六二噸を増
加せるに止まるも運賃では質
も輸送の範囲が漸次擴大し遠
距離の貨物や宅扱ひの如きも
呈し前年同期よりは發送收入
共に若干の減少を見てゐる尙
未だ上旬の動きを絶つて取扱ひに左記の如き開散を

當局の緩慢を非難

愛谷溝渠の道路化
好間の苦情に顧慮の要なし

平野が本町南裏に於ける愛谷
江の灌漑渠を暗渠にする道路
化の計画は好間江からの苦情
で本年度内の施行を遅延し同
町と好間對好間の間に折衝を
續けてゐるが水利権の關係は
愛谷江に屬することは殆んど
確實で残る問題は好間側に望
まれる面自論のみとなつてゐ
る而して此の面目なるものが
頗るデリケートであるところ
から行き惱みの姿に見えるが専
門家は既に上旬の動きを絶つて取扱ひに左記の如き開散を

石城郡飯野村の北白土浮士宗
寶國寺に住職和田法嚴師が他
界した八年以前から村内南白
土の寶國寺で

石城郡飯野村の北白土浮士宗
寶國寺に住職和田法嚴師が他
界した八年以前から村内南白
土の寶國寺で

後任住職から
ごたぐ

石城郡飯野村の北白土浮士宗
寶國寺に住職和田法嚴師が他
界した八年以前から村内南白
土の寶國寺で

小名濱豫算

大膨張

小名濱町では目下新豫算を編
成中であるが明年度の計画事
業には學校の増築や海岸の町
有埋立地に塵芥焼却所を設け
同地に町管浴場を置かうとす
るもの及び工費一万圓を以て
無料宿泊所を設置する船員サ
ービスなど種々なる目論見が
ある上に本町外四路線の鋪装
に五万五千圓と云はれるもの
並びに上水道布設費に四十八
萬圓を見込まれてゐる等々勿
論十二年度に於て全施行され
るものではないが之れ等の計
算を合すれば六十五、六
萬圓に達する膨大なものとなる
らしく町會は來月上旬の由

石城の共販米

千二百俵

石城郡販聯に於ける明二十一
競札は二十二日

日の依米定期共販は日曜のた
め二十日に行はれるが出荷

左記の如く合計千二百五十七
俵で相場は前回に比して大な
き下落なしと見られてゐる

石城一三八七八六俵 双葉

一二三三六八俵 相馬四七

一八九俵

高下なしと見られてゐる

石城三九三三七俵を算し需

求にて前回に比して大な
き下落なしと見られてゐる

石城一三八七八六俵 双葉

一二三三六八俵 相馬四七

一八九俵

高下なしと見られてゐる

石城三九三三七俵を算し需

求にて前回に比して大な
き下落なしと見られてゐる

石城一三八七八六俵 双葉

一二三三六八俵 相馬四七

一八九俵

高下なしと見られてゐる

石城一三八七八六俵 双葉

一二三三六八俵 相馬四七

一八九俵

高下なしと見られてゐる

石城一三八七八六俵 双葉

一二三三六八俵 相馬四七

一八九俵

高下なしと見られてゐる

既に百八十六萬俵 本年度產高二百廿萬俵

一月生産三萬三千七百七百俵増
本年度產高二百廿萬俵

既に百八十六萬俵

三百圓の採納を決し縣出身の
したが現會員は八十名
たは聲明書の類、マニ
アリズムなら労働階級
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

マニエストは宣言書ま
で是の斡旋よろしく懇親の宴
アリズムなら労働階級
を開いて一同歎を盡して散會
の代表者は筋肉労働者
であらねばならぬとの
主張の謂でマニュスク
リフトは寫本とか原稿
とか映畫の脚本の意、
されるに至つたので好間側の
態度等に顧慮なく近く愈よ方
針を決することになつた模様
である

